

## 政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出」

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出」は、農林水産業や商業などの産業分野を越えた連携、消費者のニーズに対応した新しい地域製品の開発、観光資源の創出、情報発信など地域資源を総合的に生かした地域産業の振興を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 16 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 26.0%、低認知度群は 74.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（29.1%）が女性（23.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（33.6%）が 65 歳未満（23.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

仙南圏域（19.2%）では、回答者全体と比較して 6.8 ポイント低い。

(%)

政策 16 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.6	24.4	26.0	56.3	17.7	74.0	100.0

性別	男性	2.1	27.0	29.1	55.7	15.1	70.8	100.0
	女性	1.0	22.0	23.0	56.8	20.2	77.0	100.0
年齢別	65 歳未満	1.4	22.0	23.4	57.9	18.8	76.7	100.0
	65 歳以上	2.0	31.6	33.6	51.7	14.8	66.5	100.0

圏域別	仙台	1.0	24.5	25.5	53.8	20.7	74.5	100.0
	仙南	1.3	17.9	19.2	64.6	16.1	80.7	100.0
	大崎	2.6	27.8	30.4	54.8	14.8	69.6	100.0
	栗原	2.0	27.2	29.2	51.6	19.3	70.9	100.0
	登米	0.9	26.3	27.2	53.5	19.2	72.7	100.0
	石巻	1.6	20.9	22.5	59.3	18.1	77.4	100.0
	気山沼・本吉	1.3	26.1	27.4	56.4	16.2	72.6	100.0

有効回答者数 1,582 名

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 36.3%、低認知度群は 63.6%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較すると、登米圏域( 75.0% )では 38.7 ポイント、栗原圏域( 42.9% )  
では 6.6 ポイント、大崎圏域( 41.3% )では 5.0 ポイント高い。

仙台圏域( 29.9% )では、回答者全体と比較すると 6.4 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 54.6%、低認知度群は 45.4%である。

(%)

政策 16 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.9	32.4	36.3	53.6	10.0	63.6	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	29.9	56.4	13.7	70.1	100.0	
	仙南	3.6	28.6	32.2	53.6	14.3	67.9	100.0
	大崎	4.0	37.3	41.3	52.0	6.7	58.7	100.0
	栗原	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	8.3	66.7	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	8.7	30.4	39.1	47.8	13.0	60.8	100.0
	気山沼・本吉	0.0	37.1	37.1	60.0	2.9	62.9	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	7.6	47.0	54.6	40.9	4.5	45.4	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

## 2. 政策 16 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 60.9%、低関心度群は 39.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（66.6%）が女性（55.8%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（67.1%）が 65 歳未満（58.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

気仙沼・本吉圏域（66.7%）では、回答者全体と比較して 5.8 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（51.7%）では 9.2 ポイント、仙南圏域（55.5%）  
では 5.4 ポイント低い。

(%)

政策 16 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	13.6	47.3	60.9	32.5	6.6	39.1	100.0

性別	男性	16.6	50.0	66.6	28.1	5.4	33.5	100.0
	女性	10.7	45.1	55.8	36.5	7.7	44.2	100.0
年齢別	65 歳未満	11.2	47.6	58.8	35.1	6.1	41.2	100.0
	65 歳以上	20.2	46.9	67.1	25.0	7.9	32.9	100.0

圏域別	仙台	12.8	49.3	62.1	30.8	7.1	37.9	100.0
	仙南	12.6	42.9	55.5	38.1	6.5	44.6	100.0
	大崎	14.9	47.7	62.6	34.0	3.4	37.4	100.0
	栗原	17.6	46.7	64.3	29.5	6.1	35.6	100.0
	登米	13.9	48.6	62.5	29.6	7.9	37.5	100.0
	石巻	8.8	42.9	51.7	41.2	7.1	48.3	100.0
	気仙沼・本吉	13.5	53.2	66.7	25.7	7.6	33.3	100.0

有効回答者数 1,614 名

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 68.3%、低関心度群は 31.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（91.7%）では 23.4 ポイント、気仙沼・本吉圏域（75.0%）では 6.7 ポイント、石巻圏域（73.9%）では 5.6 ポイント高い。

仙台圏域（61.2%）では、回答者全体と比較して 7.1 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 86.4%、低関心度群は 13.6%である。

(%)

政策 16 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	13.0	55.3	68.3	28.7	3.0	31.7	100.0	
圏 域 別	仙台	8.6	61.2	32.8	6.0	38.8	100.0	
	仙南	16.1	51.8	67.9	32.1	0.0	32.1	100.0
	大崎	14.5	57.9	72.4	26.3	1.3	27.6	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	41.7	50.0	91.7	8.3	0.0	8.3	100.0
	石巻	13.0	60.9	73.9	21.7	4.3	26.0	100.0
	気仙沼・本吉	8.3	66.7	75.0	22.2	2.8	25.0	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	27.3	59.1	86.4	12.1	1.5	13.6	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

### 3. 政策 16 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.3%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 77.5 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 17.5 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 31.8%と推定できる。

政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	23.4	(76.6)
満足度 60点未満の割合		62.3
要検討領域にある回答者全体の割合		38.9

有効回答者数；重視度 1,588人、満足度 1,573人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	1588	1573
	欠損値	133	148
平均値		67.77	49.94
平均値の標準誤差		.449	.432
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.876	17.128
分散		319.537	293.365
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	18.4	(81.6)
満足度 60点未満の割合		51.7
要検討領域にある回答者全体の割合		33.3

有効回答者数；重視度 332人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	332	331
	欠損値	6	7
平均値		68.81	53.28
平均値の標準誤差		.863	.820
中央値		70.00	55.00
最頻値		70 <sup>a</sup>	60
標準偏差		15.721	14.926
分散		247.145	222.783
範囲		90	70
最小値		10	10
最大値		100	80
パーセントイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	77.5	60.0	17.5
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	81.3	65.0	16.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.6	(89.4)
満足度 60点未満の割合		42.4
要検討領域にある回答者全体の割合		31.8

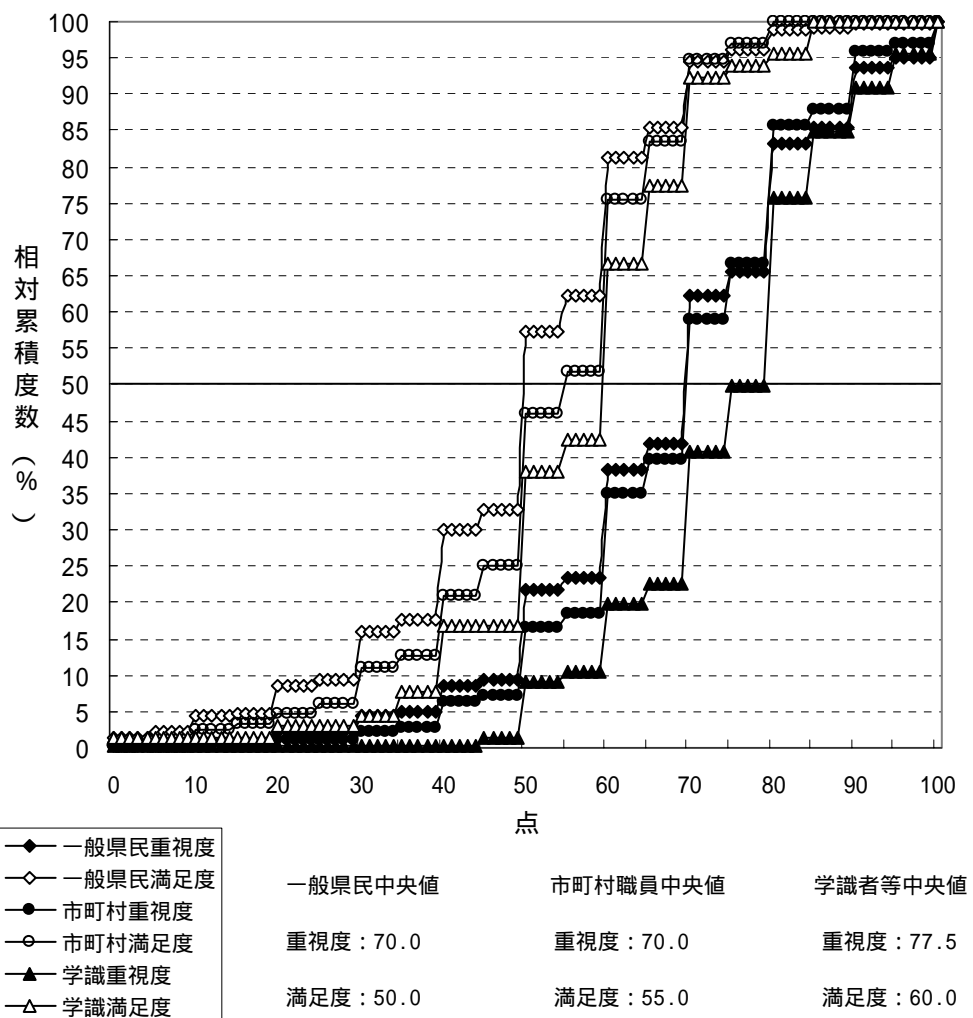
有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		74.92	57.05
平均値の標準誤差		1.621	1.724
中央値		77.50	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		13.170	14.005
分散		173.456	196.136
範囲		55	70
最小値		45	15
最大値		100	85
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	77.50	60.00
	60	80.00	60.00
	75	81.25	65.00

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」

「政策16 産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出」



### 3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 41.4%、女性 36.7%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

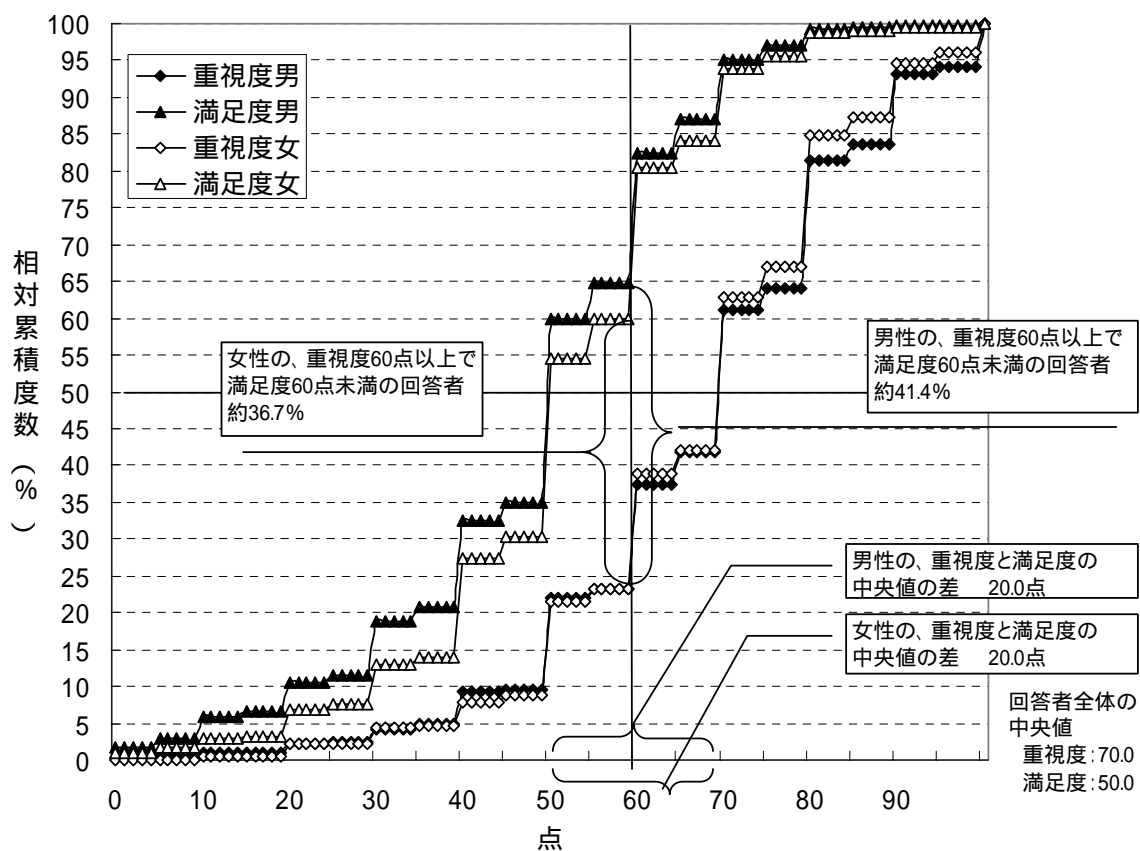
#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.3 (76.7)	23.3 (76.7)
満足度 60 点未満の割合	64.7	60.0
要検討領域にある回答者全体の割合	41.4	36.7



政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	764	757
	欠損値	39	46
平均値		68.17	48.46
平均値の標準誤差		.664	.647
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.359	17.798
分散		337.061	316.775
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	54.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	807	800
	欠損値	89	96
平均値		67.49	51.34
平均値の標準誤差		.609	.580
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.292	16.395
分散		299.000	268.812
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	58.00
	75	80.00	60.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 38.1%、65 歳以上 41.5%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

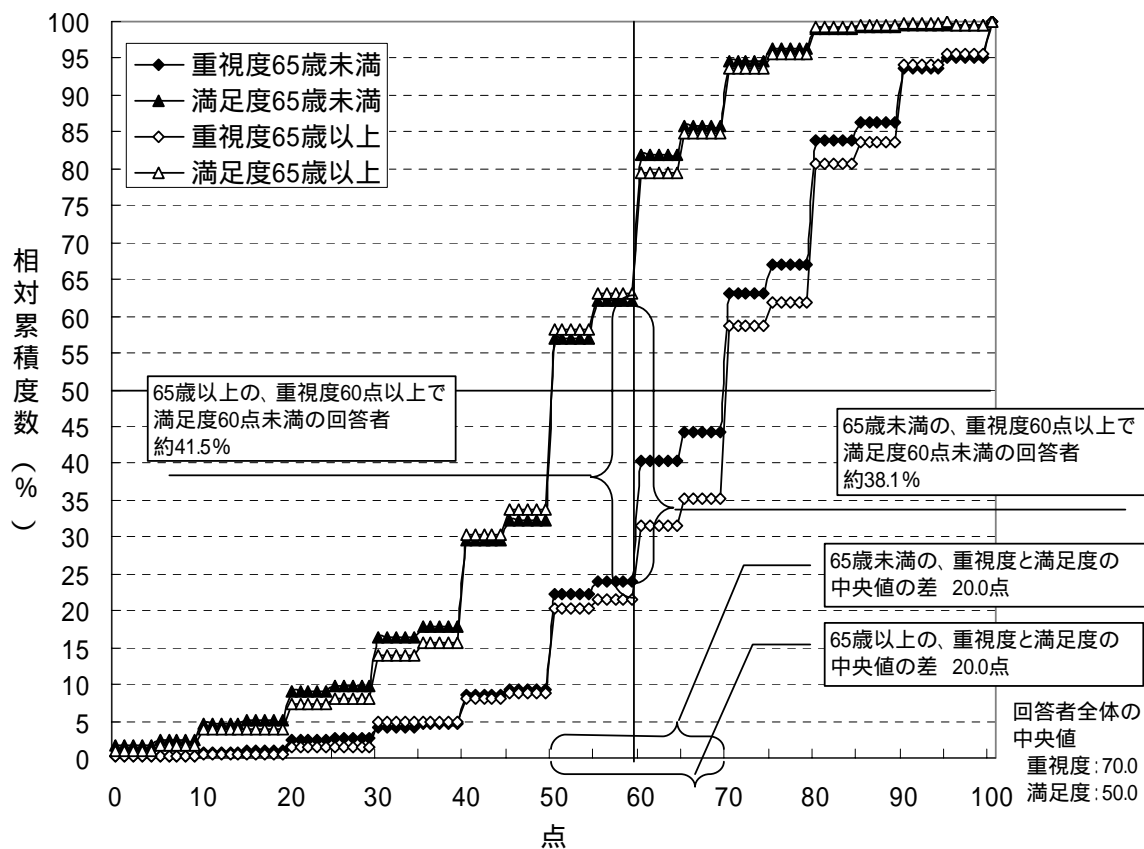
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.9 (76.1)	21.6 (78.4)
満足度 60 点未満の割合	62.0	63.1
要検討領域にある回答者全体の割合	38.1	41.5

政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	1170	1159
	欠損値	70	81
平均値		67.31	49.82
平均値の標準誤差		.523	.509
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.899	17.331
分散		320.377	300.356
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策16重視度	政策16満足度
度数	有効	399	396
	欠損値	58	61
平均値		69.31	50.33
平均値の標準誤差		.878	.835
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.539	16.620
分散		307.627	276.221
範囲		90	95
最小値		10	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

### 3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(70.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体(50.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)、登米圏域(11.9点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の3圏域が回答者全体(55.0点)よりも高く、石巻圏域(50.0点)が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域(7.5点)、登米圏域(2.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、仙南圏域(10.0点)、栗原圏域(10.0点)、仙台圏域(8.8点)、石巻圏域(8.1点)の4圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、登米圏域(6.9点)が小さい。

政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	56.3	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	16.3	15.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	11.9	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	70.0	70.0
	満足度	55.0	55.0	52.5	60.0	60.0	60.0	50.0	57.5
	かい離	15.0	15.0	17.5	10.0	10.0	20.0	20.0	12.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	80.0	60.0	60.0
	満足度	45.0	45.0	40.0	50.0	50.0	55.0	43.8	50.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	10.0	25.0	16.3	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	80.0	85.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	62.5	60.0	65.0	70.0	68.8	60.0	65.0
	かい離	20.0	17.5	15.0	15.0	10.0	16.3	20.0	15.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	7.5	10.0	10.0	2.5	10.0	10.0
	満足度	7.5	8.8	10.0	7.5	10.0	6.9	8.1	7.5

#### 4. 政策 16 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」(18.6%) である。

第 2 位は施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」(17.2%) である。

第 3 位は施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」(16.3%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」(25.1%) である。

第 2 位は施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」(18.8%) である。

第 3 位は施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」(14.6%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」(27.3%) である。

第 2 位は施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」(22.7%) である。

第 3 位は施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」(13.6%) である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、女性では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」である。

第 2 位は、男性では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」と施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、女性では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」である(男性では施策 2 と施策 3 が共に第 2 位になっている)。

第 3 位は、女性では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」、65 歳以上では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」である。

第 2 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」、65 歳以上では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」である。

#### 圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、大崎、石巻の 3 圏域では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」、仙南圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、栗原圏域では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」、登米圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」である。

第 2 位は、仙台、栗原、石巻の 3 圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、大崎、登米の 2 圏域では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」、仙南圏域では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」である。

第 3 位は、仙南、大崎、栗原の 3 圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、仙台、石巻の 2 圏域では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」、登米、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、栗原圏域では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」である（栗原圏域では施策 1 と施策 7 が共に第 3 位になっている）。

市町村職員では、

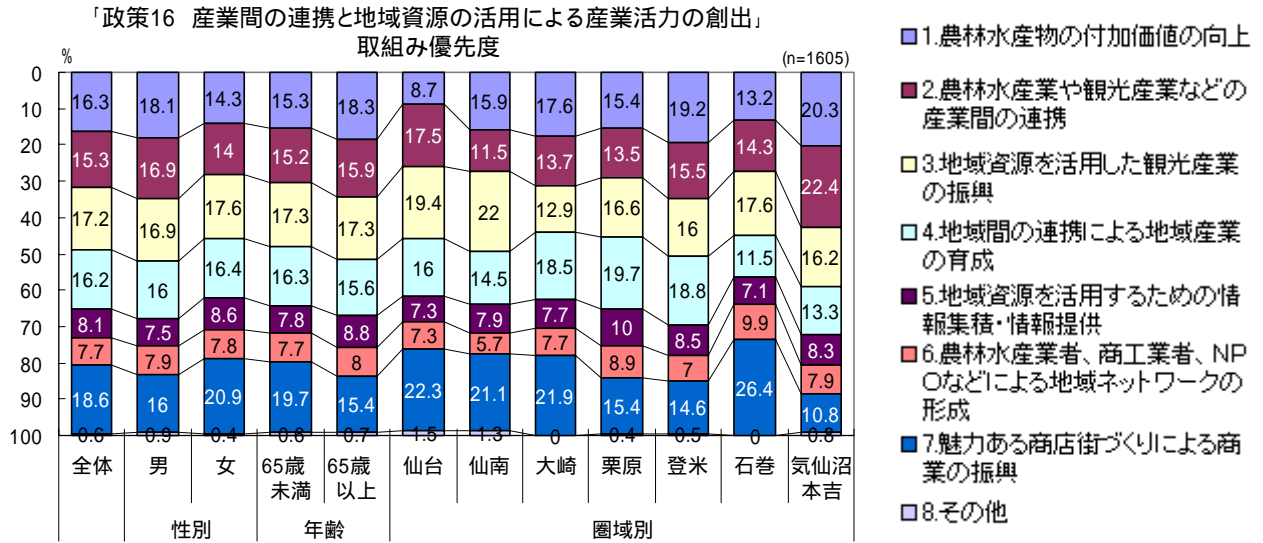
第 1 位は、仙台、仙南、栗原、石巻の 4 圏域では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」、大崎、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、栗原圏域では施策 6 「農林水産業者、商工業者、NPO などによる地域ネットワークの形成」、登米圏域では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」である（栗原圏域では施策 2 と施策 6 が共に第 1 位になっている）。

第 2 位は、仙台、登米、石巻の 3 圏域では施策 1 「農林水産物の付加価値の向上」、大崎、登米、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 2 「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」、仙南圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」である（登米圏域では施策 1 と施策 2 が共に第 2 位になっている）。

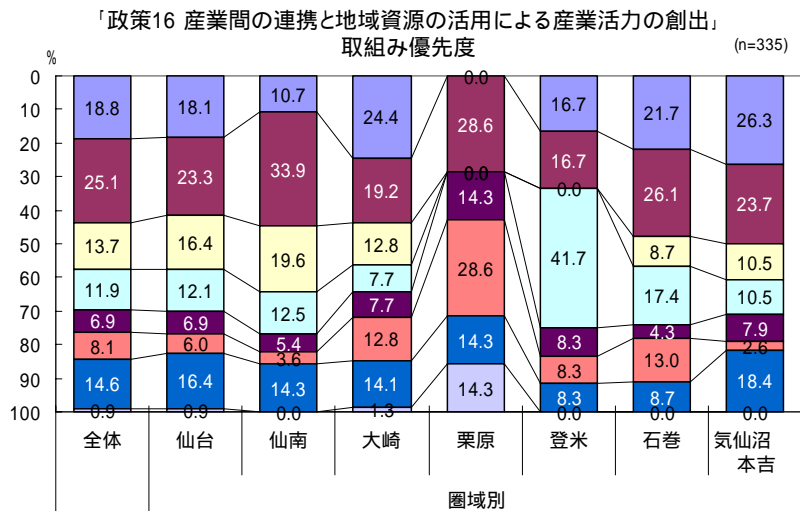
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 7 「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」、仙台圏域では施策 3 「地域資源を活用した観光産業の振興」、栗原圏域では施策 5 「地域資源を活用するための情報集積・情報提供」と施策 8 「その他」、石巻圏域では施策 4 「地域間の連携による地域産業の育成」である（仙台圏域では施策 3 と施策 7、栗原圏域では施策 5 と施策 7 と施策 8 が共に第 3 位になっている）。

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」

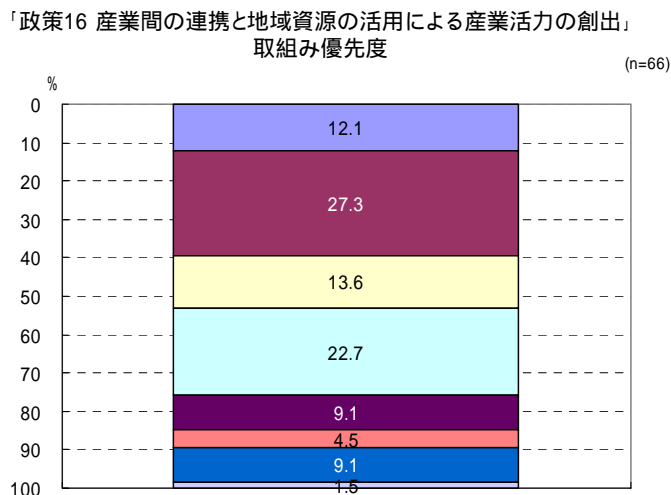
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】





政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.農林水産物の付加価値の向上	16.3	18.1	14.3	15.3	18.3	8.7	15.9	17.6	15.4	19.2	13.2	20.3
2	2.農林水産業や観光産業などの産業間の連携	15.3	16.9	14.0	15.2	15.9	17.5	11.5	13.7	13.5	15.5	14.3	22.4
3	3.地域資源を活用した観光産業の振興	17.2	16.9	17.6	17.3	17.3	19.4	22.0	12.9	16.6	16.0	17.6	16.2
4	4.地域間の連携による地域産業の育成	16.2	16.0	16.4	16.3	15.6	16.0	14.5	18.5	19.7	18.8	11.5	13.3
5	5.地域資源を活用するための情報集積・情報提供	8.1	7.5	8.6	7.8	8.8	7.3	7.9	7.7	10.0	8.5	7.1	8.3
6	6.農林水産業者、商工業者、NPOなどによる地域ネットワークの形成	7.7	7.9	7.8	7.7	8.0	7.3	5.7	7.7	8.9	7.0	9.9	7.9
7	7.魅力ある商店街づくりによる商業の振興	18.6	16.0	20.9	19.7	15.4	22.3	21.1	21.9	15.4	14.6	26.4	10.8
8	8.その他	0.6	0.9	0.4	0.6	0.7	1.5	1.3	0.0	0.4	0.5	0.0	0.8

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.農林水産物の付加価値の向上	18.8	18.1	10.7	24.4	0.0	16.7	21.7	26.3
2	2.農林水産業や観光産業などの産業間の連携	25.1	23.3	33.9	19.2	28.6	16.7	26.1	23.7
3	3.地域資源を活用した観光産業の振興	13.7	16.4	19.6	12.8	0.0	0.0	8.7	10.5
4	4.地域間の連携による地域産業の育成	11.9	12.1	12.5	7.7	0.0	41.7	17.4	10.5
5	5.地域資源を活用するための情報集積・情報提供	6.9	6.9	5.4	7.7	14.3	8.3	4.3	7.9
6	6.農林水産業者、商工業者、NPOなどによる地域ネットワークの形成	8.1	6.0	3.6	12.8	28.6	8.3	13.0	2.6
7	7.魅力ある商店街づくりによる商業の振興	14.6	16.4	14.3	14.1	14.3	8.3	8.7	18.4
8	8.その他	0.9	0.9	0.0	1.3	14.3	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.農林水産物の付加価値の向上	12.1
2	2.農林水産業や観光産業などの産業間の連携	27.3
3	3.地域資源を活用した観光産業の振興	13.6
4	4.地域間の連携による地域産業の育成	22.7
5	5.地域資源を活用するための情報集積・情報提供	9.1
6	6.農林水産業者、商工業者、NPOなどによる地域ネットワークの形成	4.5
7	7.魅力ある商店街づくりによる商業の振興	9.1
8	8.その他	1.5

政策 16 「産業間の連携と地域資源の活用による  
産業活力の創出」